

## 古代アメリカ学会 第16回研究大会プログラム

日時：2011年12月3日（土）

場所：埼玉大学総合研究棟1階シアター教室

09：15 - - 受付開始 -

10：00 - 10：10 - 開会の言葉 -

### 調査速報（10：10 - 11：30）

10：10 - 10：30 「ペルー北部、インガタンボ遺跡第三次発掘調査」

山本睦（日本学術振興会特別研究員）

ホセ・レイス・ペーニャ・マルティネス（南フロリダ大学大学院）

10：30 - 10：50 「ヘケテペケ川中流域第5次発掘調査

- テンブラデーラ対岸の神殿遺跡群 -」

鶴見英成（東京大学総合研究博物館）

10：50 - 11：10 「ペルー中央海岸、サウメ遺跡の植物利用」

浅見恵理（総合研究大学院大学）

11：10 - 11：30 「先スペイン期ペルー北部高地におけるラクダ科動物飼養について」

清家大樹（筑波大学大学院）

鶴澤和宏（東亜大学）

### ポスターセッション（11：30 - 12：00）

「メソアメリカにおける先スペイン期土器製塩に関する基礎的研究」

市川彰（名古屋大学大学院）

松崎大嗣（東海大学文学部歴史学科）

八木宏明（滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科）

「デジタル三次元地図を用いた建築復元と解釈」

福原弘識（国立民族学博物館外来研究員）

- 昼休憩（60分） -

### 調査速報 (13 : 00 - 13 : 40)

- 13 : 00 - 13 : 20 「エクアドル南部におけるインカ国家の拡大 (第1次)」  
大平秀一 (東海大学)  
森下壽典 (東海大学・早稲田大学非常勤講師)
- 13 : 20 - 13 : 40 「タスマル遺跡の土製建造物調査」 伊藤伸幸 (名古屋大学)  
柴田潮音 (エル・サルバドル文化庁考古課)  
(すでに印刷・配布済みのポスターとチラシでは、  
伊藤会員の単独発表となっていました、その後、  
ご本人の申し出により共同発表に変更されました。)

### 研究発表 (13 : 40 - 16 : 00)

- 13 : 40 - 14 : 10 「歯冠データを用いた先スペイン期ペルー北高地集団の比較」  
森田航 (京都大学大学院)  
長岡朋人 (聖マリアンナ医科大学)  
関雄二 (国立民族学博物館)  
井口欣也 (埼玉大学)  
(すでに印刷・配布済みのポスターとチラシでは、  
森田会員の単独発表となっていました、その後、  
ご本人の申し出により共同発表に変更されました。)
- 14 : 10 - 14 : 40 「ムユの民族誌：採取と流通」 大平秀一 (東海大学)

- 小休憩 (20分) -

- 15 : 00 - 15 : 30 「いわゆるウスルタン様式土器の製作技法の検討」  
村野正景 (京都文化博物館)
- 15 : 30 - 16 : 00 「マヤ文明の盛衰と環境変動」 青山和夫 (茨城大学)
- 16 : 00 - 16 : 10 - 閉会の言葉 -